



台湾のノートパソコン産業(1)

世界のノートパソコンの市場は、最近二年間の機種の変換及びノート型がデスクトップ型よりも好まれていることの影響から急速に成長し、PC市場発展の主力となった。ノートパソコンの最大の強みは使用者が持ち運べる便利さにあり、企業のグローバル化に伴ったビジネスマンの移動を伴う業務形態に適している。この他に、DellやHP等を含むノートパソコン大手メーカーは、コストダウンで消費者の購買意欲を刺激し、市場全体の需要を動かし成長している。過去のノートパソコン市場は、企業ユーザーを主なターゲットとしていたが、デジタル映像コミュニケーションや映像処理、DVD機能やWLANブロードバンドのようなマルチメディアサービスの発達に従って、個人消費者の需要が企業の需要を上まわり、現在市場を動かす主要な力となっている。今回は、台湾ノートパソコン産業の発展近況を紹介する。

台湾のノートパソコン発展近況

1995年から、台湾のノートパソコン業者は世界ノートパソコン産業の分業体系の中で、なくてはならない重要な役割を演じている。1995年当時の世界のノートパソコン需要は890万台で、台湾の出荷量は、その内29.1%を占めていた。翌年、世界市場のパソコン及び関連製品の需要は予期どおりに達成しなかったが、台湾のノートパソコン出荷量は依然前年に比べ増加している。1998年には台湾の出荷量は590万台に達し、世界市場の占有率も、35%と急速に伸びた。2000年から台湾のノートパソコン出荷量は1800万台を突破、総生産値は139億4500万ドル、2001年の出荷量1416万台、総生産値122億4000万ドルと比べ、それぞれ29.8%と13.1%成長し、2002年の台湾ノートパソコンの市場占有率は60.6%に達した。過去の台湾ノートパソコンメーカーの業務形態はOEM / ODMを主としてきた。2004年現在も少数の日系メーカーが依然in house生産している以外は、HP、DELL、Acer等の大手メーカーはほとんど100%台湾で委託生産しており、大中華経済圏ノートパソコン業

表1 世界の10大ノートブックブランド名

順位	
1	DELL
2	HP
3	Toshiba
4	IBM
5	Acer (宏碁集団)
6	Fujitsu-Seimans
7	Sony
8	Samsung
9	NEC
10	ASUS (華碩電腦)

者(既に台湾メーカーの大部分の生産は大陸に移行している)は、自社ブランドを持つ者とOEM / ODMの比重の面で、OEM / ODMが依然大多数を占めている。

しかし、自社ブランドの部分は、成長の傾向を示している。主要な要因としては次の点が上げられる。

一、積極的に自社ブランドを開拓している華碩(ASUS)の現在の出荷量は成長を続けている。



- 二、大手ノートパソコン代工メーカーが、中国大陸で自社ブランドの商品を売り出している。
- 三、中型、小型メーカーは積極的に clone^(注)市場の自社ブランドの業務を開拓している。

(注) 広く世界十大国際ブランド以外の局地的な業者、販売会社が自分でノートパソコンの組み立てを行い自社ブランドとして販売を行う業者、またはDIY市場を指す。

表2 台湾主要ノートパソコンメーカー最新出荷量

	2003	2004/Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Total
Acer/Wistron	2,005	170	190	225	250	200	260	270	1,855
Arima	942	45	57	70	70	60	60	70	512
ASUS	1,866	180	180	185	260	290	240	175	1,760
Compal	5,510	550	460	520	530	510	640	720	4,580
Inventec	1,577	180	160	180	185	160	220	240	1,565
Quanta	9,500	725	730	730	810	735	795	880	6,330
Total	21,400	1,850	1,777	1,910	2,105	1,955	2,215	2,355	16,602

備註: 出荷量単位は千台

資料: 富士キメラ総研; 2004年3月

表3 2003～2004年の世界ノートパソコンメーカー生産比率

	2003年(千台)	市場シェア(%)	2004年予測(千台)			前年比(%)	
			上半期	下半期	Total		
日系	7,120	19.0	3,450	4,170	7,620	107.0	
其他	IBM	2,000	5.3	1,130	1,370	2,500	125.0
	LG	700	1.9	410	490	900	128.6
	Dell	620	1.7	360	440	800	129.0
	Jabil	600	1.6	340	410	750	125.0
	Samsung	400	1.1	230	270	500	125.0
	Legend(聯想)	300	0.8	140	160	300	100.0
	台湾メーカー	25,710	68.5	15,110	18,420	33,530	130.4
	其の他	50	0.1	50	50	100	200.0
小計	30,380	81.0	17,770	21,610	39,380	129.6	
合計	37,500	100.0	21,220	25,780	47,000	125.3	

資料: 富士キメラ総研; 2004年3月